

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和４年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

□ 事業内容

区役所庁舎木質化整備

国産木材を活用して区役所庁舎の環境整備を行うことにより、国産木材の利用促進につなげた。

- ・ 庁舎地下１階及び１階を重点整備エリアと位置づけ、大阪府産材を効果的に活用し木質化を行った。また、各階に木製什器を導入した。

【事業費】46,247千円（うち譲与税46,247千円）

【実績】鶴見区役所庁舎

- ・ カウンター、記載台、ベンチ、椅子等の導入
- ・ 壁面等木質化（地下１階および１階）



□ 事業スキーム

公募型プロポーザル事業

□ 工夫・留意した点

- ・ 多数の区民が利用する１階を重点的に整備することで、来庁者に木材を身近に感じてもらえるようにした。
- ・ １階エレベーターホール等に森林環境譲与税を活用して整備した旨の銘板を設置し啓発を行った。

□ 基礎データ

①令和４年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※１）：0.00ha	
③林野率（※１）：0.00％		④人口（※２）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※２）：157人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より